

平成22年 5月25日現在

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：平成19年度～平成22年度

課題番号：19202025

研究課題名（和文） 東アジアにおける初期都宮および王墓の考古学的研究

研究課題名（英文） Archaeological studies on Royal Palaces and Tumuli of the Early State in East Asia

研究代表者 寺澤 薫（TERASAWA KAORU）

奈良県立橿原考古学研究所・総務企画部・部長

研究者番号：90250365

研究代表者の専門分野：

科研費の分科・細目：

キーワード：

## 1. 研究計画の概要

## (1) 纏向遺跡および関連遺跡の総合的研究

## ① 纏向遺跡および周辺の遺跡データベース完備

・奈良県桜井市所在の纏向遺跡群の既存資料を精査し、多角的な方法で資料の体系化、新知見の抽出を行う。

## ② 纏向周辺の環境復元（自然地形および植生環境等）

・纏向遺跡群出土植物遺体の樹種同定・木器の材質分析・年輪年代測定等を実施する。

## ③ 纏向遺跡および関連遺跡の発掘調査（測量調査を含む）

・纏向遺跡太田北微高地・勝山古墳・桜井茶臼山古墳の発掘調査。

・纏向巻之内地区（珠城山古墳群北方地区）の地形測量調査。

## ④ 纏向遺跡および周辺の復元的考究

## ⑤ 初期都宮に関する文献学的考究

## (2) 東アジアにおける纏向遺跡および初期都宮の比較考古学的研究

## ① 中国の初期都宮遺跡等々との比較研究

## ② 朝鮮半島の初期都宮遺跡との比較研究

## ③ その他

## 2. 研究の進捗状況

・資料調査・発掘調査・測量調査・中国における関連遺跡の踏査という4本の柱を立てて研究を推進している。

## (1) 資料調査

・研究協力者である橋本輝彦氏を中心として、

主に桜井市教育委員会が過去に調査した纏向遺跡出土資料の再精査を実施している。

## (2) 発掘調査

・平成19・20年度に勝山古墳の墳丘規模・墳形・築造時期を確認することを目的とした第5・6次調査を実施した。

・平成20年度に桜井茶臼山古墳後円部墳頂に構築された方形壇遺構の構造を再確認することを主たる目的とした第7次調査、平成21年度に同古墳の石室構造の再確認および60年前の調査で埋め戻された木棺を救出するための第8次調査を実施した。

## (3) 測量調査

・平成19年度に纏向巻之内地区（珠城山古墳群 北方地区）の航空写真測量を委託し、平成21年度に図化を完了した。

## (4) 中国における関連遺跡の踏査

・平成19年度は甘粛省・陝西省所在の先秦時代および西周時代の遺跡を中心とした踏査、平成20年度は主に河南省所在の夏商周代の遺跡踏査、平成21年度は初期大和王権が崇拝した三輪山信仰と夏代から歴史時代に到るまで中国の各王朝が崇拝した河南省中岳嵩山信仰との比較検討、および昨年公表された曹魏高陵と鄴都との関係について実地踏査を行った。

## 3. 現在までの達成度

## ② おおむね順調に進展している。

発掘調査・測量調査・中国における関連遺跡の踏査は、当初計画通り順調に進展してい

る。特に、桜井茶臼山古墳の発掘調査では、後円部墳頂の方形壇の構造を解明し、竪穴式石室の構造をより詳細に観察することができた。また、木棺も無事救出することができた。さらに、銅鏡片 331 点を初めとする多数の副葬品が出土し、被葬者像を解明するための手掛かりを得た。

#### 4. 今後の研究の推進方策

##### (1) 資料調査

・研究協力者である橋本輝彦氏を中心として継続的に実施。

##### (2) 発掘調査

・勝山古墳発掘調査報告書および桜井茶臼山古墳発掘調査概要報告書を作成する。

##### (3) 測量調査

・平成 21 年度に完了した纏向巻之内地区（珠城山古墳群北方地区）の地形図に過去の調査地点をプロットする作業を行う。

##### (4) 中国における関連遺跡等の踏査

・平成 22 年度も夏商周代の遺跡を中心に現地踏査を実施する。合わせて、桜井茶臼山古墳から出土した国内最長のガラス製管玉の類品を中国国内で探索し、その資料調査を実施する。

#### 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 14 件）

寺澤 薫、「「倭国乱」と「卑弥呼共立」—その実年代と東アジア史の実像—」、『王権と武器と信仰』、無、2008 年、pp.2-15

寺澤 薫、「農業共同体論と日本古代史研究」、『古代学研究』、有、第 180 号、2008 年、pp.433-446

豊岡卓之、「奈良盆地の前期前方後円墳の墳形類型と山城盆地への波及」、『考古学に学ぶ（Ⅲ）同志社大学考古学シリーズ』、無、IX、2007、pp.285-296

坂 靖、「奈良盆地の古墳時代集落と居館—前期～中期における政治的動向—」、『考古学研究』、有、第 55 巻第 2 号、2008 年、pp.29-44

岡林孝作、「竪穴式石室の成立過程」、『橿原考古学研究所論集』、無、2008 年、第十五、pp.143-171

〔学会発表〕（計 4 件）

寺澤 薫・豊岡卓之・橋本裕行・岡林孝作・奥山誠義・東影 悠・酒井将史、「奈良県桜井茶臼山古墳の再調査」、日本考古学協会第 76 回総会、2010.5.23、国士舘大学

岡林孝作、「桜井茶臼山古墳の調査概要」、考古学研究会（岡山 2 月例会）、2010.2.13、岡山大

学津島キャンパス

林部 均、「飛鳥の王宮—日本古代における王宮・王都の形成—」、国際シンポジウム「東アジアから見る古代学の今と未来」、2008.10.4、明治大学

岡林孝作、「竪穴式石室の構造的変遷と系譜」、(財)

大阪府埋蔵文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会、2008.1.11、大阪府立近つ飛鳥博物館

〔図書〕（計 1 件）

寺澤 薫、吉川弘文館、「青銅器のマツリと政治社会」、2010、508 頁

〔産業財産権〕

○出願状況（計 1 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 1 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕